

令和5年度 産業財産権制度各国比較調査研究等事業

『国際知財制度研究会』報告書

令和6年3月

一般財団法人知的財産研究教育財団

知的財産研究所

要約

国際的な枠組みにおける知的財産を巡る状況に関する調査【本編 1 頁～204 頁】

「医薬品を巡る最近の議論の状況」について、TRIPS ウェイバーを巡る最近の動向、WHO におけるパンデミック条約や国際保健規則（IHR）改正の動向等国際機関の議論の状況、各国・民間企業における知財関連の動向をまとめるとともに、パンデミックにおける産学連携に関するアンケート・ヒアリング調査を、大学及び製薬企業に対して実施した。

また、WIPO、WTO/TRIPS 理事会における議論の動向、WTO 紛争案件について調査・分析を行った。

加えて、国際知財制度研究会の藤井委員より、製薬企業に対するアンケート結果に基づき、Medicines Patent Pool（MPP）に関する製薬業界の考え・取り組みが紹介された。また、同研究会の山根委員より、バイオ医薬・ワクチンの特許の藪をテーマに、研究開発と後続品の参入に関する議論の動向の調査・分析がなされた。

二国間・地域的な経済連携協定における知的財産を巡る状況に関する調査【本編 205 頁～378 頁】

イスラエル及びバングラデシュにおける知財法制度・運用に知見を有する現地の法律事務所の協力を得つつ、知財に関連する情報を収集・整理するとともに、これらの内容と TRIPS 協定、我が国が締結済みの CPTPP や RCEP の規定との比較・分析を行った。

各国における知的財産を巡る状況に関する調査【本編 379 頁～493 頁】

欧州の知的財産制度の動向に関して、EU 及び主要国における最近の知財関連注目判決や「知的財産に関する行動計画」の進展状況等、知財制度の改正動向について関連情報を収集・整理するとともに、欧州単一特許制度を巡る状況等について、関連情報の整理・分析を行った。

また、国際知財制度研究会の鈴木副委員長より、欧州単一特許・統一特許裁判所制度の動向について調査・分析がなされた。

国際的な知的財産制度に関する調査【本編 494 頁～602 頁】

米国、中国、韓国、ベトナム、インドネシア、オーストラリア、EU、フランス、イタリア、ブラジル、メキシコ、アンデス共同体、タイ、英国の地理的表示の GI 保護制度の概要や動向について、最新の状況を収集・整理し、分析を行うとともに、近時の活発化している国際協定における地理的表示の保護を巡る EU や米国の動きについても整理・分析を行った。

また、農林水産省 輸出・国際局 知的財産課 地理的表示保護推進室の氷熊室長より、GI 保護制度に関する調査・分析がなされた。

『国際知財制度研究会』（令和五年度）委員名簿

委員長	高倉 成男	明治大学 名誉教授
副委員長	鈴木 將文	早稲田大学 法学大学院 教授
委員	栗津 卓郎	シティニューワ法律事務所 弁護士
委員	飯田 陽介	トヨタ自動車株式会社 知的財産部長
委員	伊藤 一頼	東京大学 大学院法学政治学研究科 教授
委員	伊藤 透	ソニー知的財産サービス株式会社 代表取締役社長
委員	岡田 羊祐	成城大学 社会イノベーション学部 教授
委員	奥村 浩也	武田薬品工業株式会社 グローバル知的財産ヘッド
委員	川合 弘造	西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 弁護士
委員	北村 朋史	東京大学 大学院総合文化研究科 准教授
委員	佐久間直子	富士フイルム株式会社 知的財産本部長
委員	真竹 秀樹	キヤノン株式会社 執行役員 知的財産法務本部 本部長
委員	滝澤紗矢子	東京大学 大学院法学政治学研究科 教授
委員	田村 善之	東京大学 大学院法学政治学研究科 教授
委員	藤井 光夫	日本製薬工業協会 知的財産部長
委員	渕 麻依子	神奈川大学 法学部 准教授
委員	山根 裕子	政策研究大学院大学 名誉教授
＜オブザーバー＞		
	安川 聡	経済産業省 通商政策局 通商機構部 国際知財制度調整官
	川口 聖司	経済産業省 通商政策局 通商機構部 参事官補佐
	伊藤 登紀子	経済産業省 通商政策局 通商機構部 係長
	大山 栄成	特許庁 総務部 国際政策課 国際制度企画官
	宮岡 真衣	特許庁 総務部 国際政策課 課長補佐
	小野 隆史	特許庁 総務部 国際政策課 国際機構第一係長
	福山 則明	特許庁 総務部 国際政策課 経済連携班長
	仲川 聡美	特許庁 総務部 国際政策課 国際情報専門官
＜事務局＞		
	小林 徹	一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産研究所 常務理事
	大屋 静男	一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産研究所 研究部長
	山西 了	一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産研究所 主任研究員
	井手 李咲	一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産研究所 主任研究員
	引地 麻由子	一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産研究所 主任研究員
	西村 竜二	一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産研究所 主任研究員
	水野 聡之	一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産研究所 主任研究員
	内田 剛	一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産研究所 研究員
	森田 智絵	一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産研究所 補助研究員
	石本 愛美	一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産研究所 補助研究員
	坂治 深雪	一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産研究所 補助研究員

はじめに

本報告書は、令和五年度『国際知財制度研究会』（以下「研究会」という）において検討を行った事項についてとりまとめたものである。

今年度の研究会では、国際的な枠組みにおける知的財産を巡る状況、二国間・地域的な経済連携協定における知的財産を巡る状況、各国における知的財産制度を巡る状況、及び国際的な知的財産制度の議論について検討を行った。

第一に、国際的な枠組みにおける知的財産を巡る状況に関して、「医薬品を巡る最近の議論の状況」について、TRIPS ウェイバーを巡る最近の動向、WHO におけるパンデミック条約や国際保健規則（IHR）改正の動向等国際機関の議論の状況、各国・民間企業における知財関連の動向（第2部第1章）、委員からの関連する発表（同第2章及び第3章）、パンデミックにおける産学連携に関するアンケート・ヒアリング調査結果（同第4章）について検討した。また、「WIPO、WTO/TRIPS 理事会等、知的財産の専門的なフォーラムにおける議論の状況」について、TRIPS 理事会、及び WIPO における議論の動向、WTO 紛争案件について議論を行った（同第5章）。

第二に、二国間・地域的な経済連携協定における知的財産を巡る状況に関して、イスラエル、バングラデシュの両国について、知財制度の概要や締結済みの EPA における知的財産章の規律の分析、及び TRIPS 協定や RCEP・CPTPP 等我が国が締結済みの主要 EPA/FTA の規定との比較・分析を行った（第3部）。

第三に、各国における知的財産制度を巡る状況に関して、欧州における最近の知財関連注目判決及び知財制度改正の動向（第4部第1章）、欧州単一特許制度の概要（同第2章）や委員からの関連する発表（同第3章）について議論を行った。

第四に、国際的な知的財産制度の議論に関して、諸外国における地理的表示保護制度（関連する法律、保護対象、効力等や国際協定を巡る動向）（第5部第1章）及び我が国における地理的表示保護制度（同第2章）について議論を行った。

なお、本報告書は研究会における討議を踏まえて作成されたものであるが、執筆者名の表記がある部分については執筆者が記載したものである。

要約
委員名簿
はじめに

目 次

本編

第1部 国際的な枠組みにおける知的財産を巡る状況に関する調査	1
第1章 医薬品をめぐる最近の議論の状況	1
第2章 Medicines Patent Pool (MPP) に関する製薬業界の考え・取り組みについて (藤井委員)	74
第3章 バイオ医薬・ワクチン『特許の藪』—研究開発と後続品の参入に関する議論の動向— (山根委員)	80
第4章 パンデミックにおける産学連携に関するアンケート・ヒアリング調査	92
第5章 WIPO、WTO/TRIPS 理事会等、知的財産の専門的なフォーラムにおける議論の状況	111
第2部 二国間・地域的な経済連携協定における知的財産を巡る状況に関する調査	205
第1章 イスラエルの知財制度	206
第2章 イスラエルが締結済みの EPA/FTA の知的財産章の規定	256
第3章 第1章及び第2章の調査・分析結果と TRIPS 協定や主要 EPA/FTA の規定との関係	272
第4章 バングラデシュの知財制度	316
第5章 バングラデシュが締結済みの EPA/FTA と知的財産章の規定	364
第6章 第4章及び第5章の調査・分析結果と TRIPS 協定や主要 EPA/FTA の規定との関係	365
第3部 各国における知的財産制度を巡る状況に関する調査	379
第1章 欧州における最近の知財関連注目判決及び知財制度改正動向	379
第2章 欧州単一特許制度概要	481
第3章 単一特許・統一特許裁判所制度の動向 (鈴木副委員長)	489
第4部 国際的な知的財産制度の議論に関する調査	494
第1章 諸外国における地理的表示保護制度	494
第2章 農林水産・食品分野の地理的表示 (GI) 制度の概要と近年の動向について (農林水産省 輸出・国際局 知的財産課 地理的表示保護推進室 氷熊室長)	599
第5部 国際知財制度研究会まとめ	603